

## 体にやさしいがん治療をめざすハイパーサーミア

放射線科

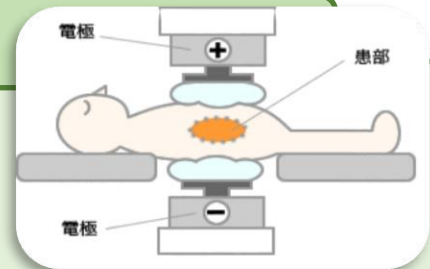
### ハイパーサーミアとは？



- がんが熱に弱いメカニズムを利用した治療法です。
- 電磁波を利用して患部を温めます。
- ハイパーサーミアだけでがんを根治できるのは稀であり、抗がん剤等と組み合わせる治療が行われます。

### どうやって治療するの？

- 患部を電極で挟んで、50分間加温します。
- 治療による副作用がほとんどありません。
- 長期間・何回でも治療可能です。



### どんな部位に適応なの？

- 脳や頭部を除く首から下ならどこでも治療可能です。
- 転移がんや再発がんの方にも行われます。
- がん組織型や種類を問いません（ただし血液のがんにはあまり行われません）。



### 治療できない方は？

- 約一時間安静を保てない方。
- ペースメーカー・除細動器・心電計・人工内耳などの電子機器を装着している方。
- 加温域内に金属を留置している方。
- 意思疎通の困難な方。妊婦・産婦（出産直後）・小児。

当院で、この治療は保険適応となります。



放射線科

## がんと脳梗塞（トルーソー症候群）

がんになると全身の血液が固まりやすくなることが知られています。

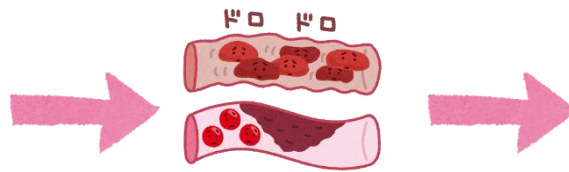
がん組織から様々な物質が、血小板、血管内皮などに作用して凝固能亢進（血液が固まりやすくなったり過度に凝固したりする状態）が起こり、脳梗塞が起こると考えられています。

### メカニズム

- 多くは、心源性脳塞栓症、つまり心臓の内膜にできた血栓が血流に乗って脳に運ばれ、そこで血管が詰まって脳梗塞を起こすものです。



悪性腫瘍（がん）



血液凝固が亢進し



脳卒中を起こすことがある

### 脳梗塞を起こしやすい癌

- 卵巣がん、すい臓がん、胃がん、胆管がん、肺がん、乳がんなどです。
- 凝固が亢進しているがん患者さんは、脳梗塞の他に静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症など下肢や肺の静脈に血栓ができて静脈が詰まってしまう病気）も起こしやすいことが知られています。

### 予防

- 治療によりがんをなくすのが一番ですが、脱水にならないよう水分摂取が重要です。抗がん剤の治療中やその副作用で嘔吐が激しく脱水状態が続くと、脳梗塞の恐れがありますので注意が必要です。

### 治療

- がん患者さんに合併する脳梗塞の治療は、抗凝固薬（ヘパリンなど）で行うことになっております。